

第2回 西東京市立田無第三中学校運営協議会 議事録

日 時 令和6年6月24日（水）午前11時から正午まで

場 所 田無第三中学校 第2音楽室

出席者 伊藤 慎一委員、島崎 寛巳委員、本田 雄三委員、大場 愛委員、
大久保順子校長、脇山 聖司副校長

欠席者 今井 文男委員

内 容（全体進行：脇山副校長）

1 校長挨拶

2 会長挨拶 ※欠席のためなし

3（1）第1学期の教育活動の状況・報告（脇山副校長）

・入学式 ・学校公開 ・中間考査 ・運動会

（2）第2学期の教育活動に向けて（脇山副校長）

・学校評価の評価項目 ・授業評価の評価項目

・夏季休業中の質問教室、自習教室 ・保護者、地域とつながる教育活動の工夫

4 その他（意見交換）

大久保校長：安全安心な運動会を皆様のおかげで開催できた。生徒がより学校生活への意欲が高まってきた。生徒は、授業態度もよく頑張っている。学校生活の中では、心の成長とともにいじめにつながることもあるが、学校がチームとして取り組み、解消に向けて進めることができた。ここまでの教育活動を振り返って、2学期に向けて御意見を伺いたい。

伊藤委員：運動会を拝見し、先生方の頑張りに感激した。生徒席のテントは、これまでも課題としてきたところ、決断いただきありがたかった。教師と生徒が信頼関係を築けるよう、コミュニケーションの機会が増えるとよいと考えている。

大久保校長：ふれあい面談で教師と生徒の1対1の関わりをもつ機会を設けている。行事も関係を深める機会となるため、大切にしている。

島崎委員：質問教室・自習教室は、どのように進めているのか。

大久保校長：学校全体で組織的に運営している。自習教室には学生ボランティアも考えている。

本田委員：三中応援団で、自習教室を行ったことがあったが、ボランティアだと生徒への対応が難しい場面もあって、結局先生方の手をお借りしたこともあった。

加藤委員：教師と生徒の1対1の場面があまりないので、ふれあい面談を設けてもらえてありがたい。

大場委員：楽しいと思えることがないと学習意欲につながらないと思う。生徒と教師が信頼関係を深めることはそのきっかけになるのではないか。例えば、給食放送で先生インタビューなどの企画を通して、教師の人となり分かるような

機会を設けるのもよいのではないか。笑いもある関係も大切である。先生と生徒がより関わる機会が必要ではないか。

大久保校長：生徒の居場所づくりは今後も検討していきたい。

本田委員：授業時間数のことはあるが、行事の準備期間が2週間であれだけの運動会がよくできた。行事等は、人間関係の形成に大切な期間である。いじめは、なくなるものではないと思う。また、いじめがあった後のケアができる体制づくりが大切である。

今後、中学一年生の時点で学習が遅れてしまう子もいると思う。このような生徒をどうしていくか考えていく必要がある。

大久保校長：子どもたちが主体的に学習に取り組んでいる授業ができているか、今後、授業評価を行う。分析をして改善につなげていく。

本田委員：学校評価の案の「子どもは本を読む習慣がある」の設問は、「我が家は、本を読む習慣がある」にしてみてもどうか。また、学校運営委員会のことを保護者に知られていないところもあるので、周知方法を考えていくのは、今後の課題である。

脇山副校長：本日は、これにて閉会とする。次回は、9月24日（火）。